

市民環境大学OB会 ニュースレター



第50号記念特集号 2024年9月19日 発行

2024年初夏 蓼科高原にて
餌をくわえた四十雀

OB会ニュースレター発刊50号を迎える！！

市民環境大学OB会のニュースレターは今回の9月発行で発刊50号を迎えました。スタートしたのが2015年3月でしたから要した期間は9年6カ月です。2020年3月の31号までは2カ月毎の順調な発行でしたが、2020年年初から流行しだしたコロナにより会の活動が大きく制限され、それにもなってニュースレターの発行も遅延しました。しかし会員の皆さまの多大なる協力により同年8月に32、33の合併号として再開し、その後は3カ月毎のインターバルで順調に発刊できました。

今回の記念特集号発刊に当たり、OB会発足当初から積極的に活動され、ニュースレターの発刊に対しても多大なる協力を頂いてきた原田武司さんに挨拶文を投稿いただきました。以下に紹介します。また、続けて30号記念特集号の際にまとめたニュースレターの歩みを今回は50号までまとめました。

「ニュースレター」50号発刊に際して

OB会 原田 武司

「ニュースレター」50号発刊おめでとうございます。市民環境大学OB会が発足して3年後の2015年（平成27年）に産声をあげてからついに節目の50号に到達でき感無量です。そしてここまで続けてこられたのも当初から編集に携わって載っている尾添氏の尽力によるものであることは誰もが認めるところです。あらためてこの場を借りて謝意を表しますとともに今後もよろしくお願い致します。

一方、回を重ねるごとに充実してきた「ニュースレター」に比べ30号記念号で飯島会長が求めたOB会の活動の更なる発展については停滞気味であったことは否めませんでした。しかしここにきて尾添氏の「東京都協会賞応募」初挑戦や別所さん主導の「カワセミハウス環境パネル展」への初参加などの新しいチャレンジが加わることになったのは喜ばしいことで皆さんと力を合わせ新しい芽をしっかりと育てていきたいと思っています。

ニュースレター50号までの歩み

発行番号	発行日	内容概略
第01号	2015年03月19日	ニュースレター発刊とOB会取組紹介
第02号	2015年05月21日	フィールドワーク黒川清流公園見学会 放射線測定活動紹介
第03号	2015年07月16日	身近な水環境全国一斉調査へ参加 NO2全都一斉測定参加
第04号	2015年09月17日	“日野の環境と地名”上野さん講演 放射線測定3年間のまとめ情報
第05号	2015年11月19日	“山室信一著”憲法9条の思想水脈”戸川さん紹介
第06号	2016年01月21日	田中さん “沢庵和尚”について紹介
第07号	2016年03月17日	初のOB会懇親会開催 “OB会雑感”河原さん投稿
第08号	2016年05月19日	日野市桜名所の紹介と原田さん、佐山さんの投稿
第09号	2016年07月21日	小倉先生エッセイ紹介 “水質全国一斉調査に参加” 野尻さん投稿
第10号	2016年09月15日	湧水測定開始 飯島会長挨拶 “浅川水量減少の危機”戸川さん投稿
第11号	2016年11月17日	浅川水量減少危機市議会傍聴記 田中さん投稿 湧水定期測定経過 原田さん投稿

発行番号	発行日	内容概略
第12号	2017年01月19日	小倉先生受賞お祝い会報告、琵琶湖博物館はしかけ制度 戸川さん投稿、OB会コラム“奇跡を生きる” 大山さん投稿 OB会コラム開始
第13号	2017年03月16日	飯島会長からOB会活動紹介 “知ろう歩こう向島用水” 上野さん投稿 OB会コラム“放射能飛来に備えて” 原田さん投稿 2ページ構成開始
第14号	2017年05月18日	谷仲山湧水測定のとまめ 坂井さん投稿 カワセミハウススタート
第15号	2017年07月20日	“輪読テキスト紹介と松枯れ問題” 河原さん投稿
第16号	2017年09月21日	“谷仲山緑地の植物紹介” 立川さん投稿、OB会コラム“カナディアンロッキーの森” 尾添投稿
第17号	2017年11月16日	黒川清流公園湧水枯渇危機！緊急特集 飯島さん、田中さん、原田さん、大山さん 投稿
第18号	2018年01月18日	北野水再生センター見学会報告、OB会コラム“地神は濁く” 細川さん投稿
第19号	2018年03月15日	黒川清流公園フィールドワーク 小倉先生投稿、OB会コラム“湧水測定に関わって” 原田さん投稿
第20号	2018年05月17日	“冬の異常気象” 飯島さん投稿、OB会コラム 異常気象に関連して小倉先生、原田さん投稿参
第21号	2018年07月19日	豊田湧水・用水見学会 尾添報告
第22号	2018年09月20日	黒川清流公園の湧水に異変！飯島さん投稿、OB会コラム“黒川清流公園のアマナ” 田中さん投稿
第23号	2018年11月15日	“夏の異常気象” 小倉先生解説 OB会コラム 藁谷さん投稿①
第24号	2019年01月17日	黒川清流公園の湧水量測定1年のとまめ 原田さん投稿 OB会コラム 藁谷さん投稿②
第25号	2019年03月14日	OB会へのおさそい 飯島会長、湧水対策委員会傍聴記 河原さん報告 OB会コラム “湧水問題への提言と要望” 田中さん投稿
第26号	2019年05月16日	黒川清流公園 湧水問題のその後！ 原田さん報告 OB会コラム 河原さん：ショートコラム2題
第27号	2019年07月18日	南極・北極科学館見学会 畦元さん報告 OB会コラム 田中さん：程久保川テクテクマップ
第28号	2019年09月19日	“水車まつり” 上野さん報告 OB会コラム “チョコッとネパール” 坂井さん投稿
第29号	2019年11月14日	小平市上下水道館見学会 原田さん報告、黒川清流公園 湧水問題のその後！ 尾添報告
第30号	2020年01月06日	30号記念号 “ニュースレター30号に際して” 飯島会長挨拶 “ニュースレター30号までを振り返って” 尾添報告
第31号	2020年03月19日	「市民環境大学講座11年を終了して」 小倉先生報告 初の試み ビデオ放映会開催 OB会コラム ラグビーワールド・・・ 田中徹さん投稿
第32/33号合併号	2020年08月20日	コロナ禍によるニュースレター発刊遅延 第1回定期活動報告（放射線量/湧水量）飯島会長挨拶、原田さん投稿
第34号	2020年10月15日	多摩地区気温、降水量の推移 尾添報告 「呼吸はCO2をいくらだして・・・」 河原さん投稿 OB会コラム モーリシャスの美しい・・・ 田中徹さん投稿
第35号	2020年12月17日	水質測定の報告 その1 畦元さん投稿 OB会コラム① 自己紹介をかねて 末包さん投稿 OB会コラム② 浮世絵と縁・・・ 田中徹さん投稿
第36号	2021年03月18日	身近な水環境の全国一斉調査報告 佐山さん投稿 北野下水処理場の処理水は・・・ 小倉先生投稿 OB会コラム ナラ枯れ病・・・ 田中徹さん投稿
第37号	2021年06月17日	日野市クリーンセンター見学会 田中良一さん投稿 OB会コラム① 変わった生き物・・・ 田中徹さん投稿 OB会コラム② 日野市ヘコウノトリ・・・ 田中徹さん投稿
第38号	2021年09月16日	第2回定期活動報告（放射線量/湧水量） OB会コラム プラスチックごみ・・・ 末包さん投稿

発行番号	発行日	内容概略
第39号	2021年12月16日	環境大学とのコラボ気温一斉調査 OB会コラム① ルリボシカマキリ・・ 尾添報告 OB会コラム② 浅川のキジ・・ 原田さん投稿 田中徹さん投稿
第40号	2022年03月17日	水質報告その2 水質調査浅川流域水質map 完成 OB会コラム 人新世について 尾添報告 藁谷さん投稿
第41号	2022年06月16日	小石川植物園訪問記 明石久子さん投稿 OB会コラム① 環境三題噺について 末包通信さん投稿 OB会コラム② 我が家に来る生き物たち 大山末子さん投稿
第42号	2022年09月16日	豊田湧水と用水見学会Part II 報告 明石久子さん投稿 OB会コラム① 環境保護を訴える国連切手 小倉先生投稿 OB会コラム② 日野市の空、水辺にコウノトリを 田中徹さん投稿
第43号	2022年12月15日	第3回定期活動報告（放射線量/湧水量/水質） 放射線測定130回を迎えて 原田さん投稿 浅川流域水質map 2022年度版完成 OB会コラム① 映画PLAN75を見て 原田さん投稿 OB会コラム② 新入生の雑記帳 別所さん投稿
第44号	2023年03月16日	黒川清流公園周辺気温測定会報告 尾添報告 OB会コラム① 稚内市の自然エネルギー 別所さん投稿 OB会コラム② 黒川清流公園の木曾石の水路 田中徹さん投稿
第45号	2023年06月15日	春の程久保川流域探訪の報告 畦元智恵子さん報告 小倉先生著作 ”東京湾” 発刊紹介 尾添報告 OB会コラム 日野市浅川北の地下水ルートの研究 田中徹さん投稿
第46号	2023年09月21日	日野市緑と清流課との懇談会報告 原田武司さん報告 市民環境大学生募集活動実施について 尾添報告 OB会コラム 環境大学講座 多摩川ーその自然と文化 別所さん投稿
第47号	2023年12月14日	第4回定期活動報告（放射線量/湧水量/水質） 尾添報告 浅川流域水質map 2023年度版完成 OB会コラム① 多摩川その自然と文化 別所さん投稿 OB会コラム② 吹上台地の砂礫層について 田中徹さん投稿
第48号	2024年03月21日	放射線量測定を終了について 原田さん投稿 夏の黒川清流公園周辺気温測定会報告 尾添報告 OB会コラム① 段丘崖緑地消滅開発について 田中徹さん投稿 OB会コラム② 稚内市の自然エネルギーの続き 別所さん投稿
第49号	2024年06月20日	東京都公園協会賞応募について 尾添報告
第50号	2024年09月15日	50回記念特集号 原田武司さん挨拶 1号から50号までの歩み 尾添報告 OB会コラム①公開講座「黒川清流公園の夏を探そう」 立川さん投稿 OB会コラム②真夏の酷暑 釧路 勝浦は気温上昇少ない 別所さん投稿

OB会メンバー 活動イベントニュース

- ・ “東京都公園協会賞”を3月末に応募したが残念ながら落選
- ・ 「カワセミハウス環境パネル展」参加 6月2日～15日
- ・ 身近な水環境全国一斉調査参加 6月実施
- ・ 第94回二酸化窒素全都いっせいで測定参加 6月6日～7日
- ・ 第1回日野市湧水等保全審議会参加（三村氏、田中氏、原田氏） 7月4日
- ・ 第12回多摩川流域歴史セミナー参加（三村氏、細川氏） 7月20日

OB会 例会情報 話題提供と話し合い情報

- ・ 3月例会：「世界の食料のこれからについて考える3つの話題」 末包通信さん紹介
「震災より13年 原発の行方」 原田武司さん紹介
- ・ 4月例会：「視覚障害者を取り巻く環境について考える3つの話」 末包通信さん紹介
- ・ 5月例会：「日野市内の遺跡について」 田中良一さん紹介
「明治神宮外苑開発について改めて考える3つの話」 末包通信さん紹介
- ・ 6月例会：「日野自動車跡地の高層ビル建設について」 原田武司さん紹介
「電気自動車の将来を考える3つの話」 末包通信さん紹介
- ・ 7月例会：「尿トラブルについての3つの話」 末包通信さん紹介
- ・ 8月例会：「知床半島の携帯電話基地局建設について考える3つの話」 末包通信さん紹介

OB会コラム①

今回のOB会コラム①は植物に大変造詣の深い立川絹代さんです。立川さんには少し前ですが、2017年9月発行の第16号に「谷仲山緑地」という題で、ハチオウジアザミなどの希少種についてご紹介頂きました。今回は久しぶりのご登場で、市民環境大学 公開講座 みんなの環境セミナー「黒川清流公園の夏を探そう」と題して以下投稿頂きましたので紹介します。

市民環境大学 公開講座 みんなの環境セミナー 「黒川清流公園の夏を探そう」

OB会 立川 絹代

7月4日 黒川清流公園において、黒川清流公園の夏を探そう観察会を行いました。

参加者は広報やチラシの案内で申し込んでくださった方、定員15名と市民環境大学受講生。

あずまや池より湧水路と林の間の緑道を進み、生い茂るクサギの葉、イボタノキの花の盛りを思わせるような沢山の種子を見た。

落葉高木のコブシの樹の果実を探して見たがまだ早いのか？確認できなかった。コブシの果実は袋果が集まった集合果、握りこぶしの形をした種子が10月頃に熟すと裂開し赤色種子が長く伸びた糸状の珠柄の先にぶら下がる。

エゴノキの涼しげな実、時に「森のシャンデリア」と称される鈴の様な花が枝先いっぱい咲く姿を思い浮かべてみた。

樹木の雌雄異株？どこで見分けるのだろうか。種子が成るか否か、雌花と雄花をそれぞれ別の個体に付ける。イチヨウの雌株と雄株の木が緑道の左右に有り、雄株の雄花は6月ごろ落ちて樹の周りを白く染める。雌株の雌花の種子はあのギンナン、雌花が受粉し結実しギンナンの実になります。雄株には雄花、雌株には雌花しか付かないです。



観察会のあった黒川清流公園



大池近くに咲くヤマユリ

湧き水池の周辺の湿地にはハンノキ、アブラチャンの群落があり。黒川清流公園の最も特徴とする自慢の場所です。この湿地が育むハンノキ、アブラチャン、その林床には、チダケサシ、ノカンゾウ、コオニユリの花の色が緑地を染めて目を楽しませてくれました。

大池手前の清流広場は子供たちの水遊びや憩いの場所。ミゾホオズキの群生、清らかな流れ、東豊田緑湧会（雑木林ボランティア団体）の保全地域内、柵の中にはヤマユリの花が数株見られました。

夏の暑い日差しと高温の中、黒川清流公園の湧水がもたらす環境を実感して頂けたかと思えます。

黒川清流公園内には約50種を超える樹木が生育しています。黒川清流公園で見られる貴重な植生も数種、特に東京都南多摩郡で絶滅危惧種に指定されている植生も生育しています。

ケヤキやサクラなど落葉高木に寄生するヤドリギ（宿木）も数多く見られ、渡り鳥のヒレンジャク、キレンジャク、がヤドリギの実を食べにくる姿を多くのカメラマンが訪れて、春先の話題となります。

今回のOB会コラム②は常連で投稿いただいている別所徹子さんです。近年温暖化の影響か酷暑の夏が続いていますが、北海道の釧路と千葉県勝浦は気温上昇が少ないそうです。大変興味深い事実を投稿いただきました。以下紹介します。

真夏の酷暑 釧路 勝浦は気温上昇少ない不思議

OB会 別所 徹子

昨年の猛暑に釧路と勝浦が涼しい事がマスコミで話題になった。それに関して最近得た情報を報告する。

1. 釧路地方の夏（6～8月）

釧路地方の夏は海霧と共にやって来ます。ツツジや桜が散り、ヒオウギアヤメやエゾカンゾウが咲き始める頃になると、海霧の日が多くなり、気温は上がりず、夏らしさを感じられる日は少なくなります。霧の日が多くなります。

南からの暖かく湿った空気が、冷たい千島海流（親潮）に冷やされて霧が発生し、釧路地方に流れ込んできます。

太平洋高気圧の勢力が強まり夏型の気圧配置になると、釧路地方では霧が発生しやすくなります。釧路地方の海霧が多い年は、北海道の他の地方では気温が高く日照時間も多くなる傾向があります。

霧に覆われることが多く、日照時間が少ないため、涼しく過ごせます。長袖や上着が必要でしょう。霧雨が降りやすいので、雨具を準備すると良いでしょう。



各都市の平年値一覧表

地点	夏日	真夏日	霧日数(6～8月)	日照時間(6～8月)
釧路	7. 2日	0. 3日	47. 3日	363. 3時間
帯広	49. 6日	12. 5日	20. 8日	395. 3時間
札幌	54. 6日	8. 6日	0. 7日	516. 2時間
東京	118. 5日	52. 1日	0. 2日	449. 8時間

夏日: 日最高気温が25℃以上の日

真夏日: 日最高気温が30℃以上の日

霧日数: 霧が発生した日数(6～8月の合計)

日照時間: 直射日光が雲などに遮られずに地表を照射した時間(6～8月の合計)

釧路は札幌や帯広より夏日、真夏日が少なく、特に真夏日は10年に3回の出現頻度です。もし、釧路で真夏日が続けば市民はバテバテになってしまい、涼しい夏を求めるでしょう。釧路は天然の避暑地です。

釧路地方気象台ホームページより

2. 奥日光並みの涼しさ!? 千葉県勝浦市

その理由は“海底”！温泉・宿泊施設が続々オープンも…気になる点が・・・。

最高気温35℃以上の「猛暑日」が一度もない地域を知っていますか？都心から車で1時間半ほど、太平洋に面した千葉県勝浦市です。

「涼しい」ことが知られて観光需要が高まり、温泉・宿泊施設などが続々とオープン。一方で、人気の高まりによって気になる影響も出ています。

(2024年7月4日 NHK千葉放送局記者・車谷郁実、浅井優奈)

「涼しい！」勝浦市が“熱い”房総半島南部で太平洋に面した千葉県勝浦市。

広い地域で晴れた7月4日、各地の最高気温は東京都心で35℃、木更津市で36℃となりましたが、勝浦市は30.3℃にとどまりました。

過去118年「猛暑日」なし！

勝浦市では、観測が始まった1906年以降、最高気温が35℃以上の「猛暑日」を記録したことがありません。観測史上の最高気温はちょうど100年前、1924年8月23日の34.9℃です。

2023年7月の日ごとの最高気温の平均は28.9℃。東京都心の33.9℃より5℃も低くなりました。

海沿いでは霧も発生

また、2024年6月24日には東京都心で33.4℃を観測しましたが、勝浦市の最高気温は27.8℃。栃木県・奥日光の25.4℃と「大きく変わらない」などとして、SNS上でも話題になりました。

なぜ涼しい？秘密は「海底」

千葉大学環境リモートセンシング研究センターの市井和仁教授によりますと、勝浦市が涼しい理由は、海底の地形にあるといいます。

勝浦市の沿岸では、海底が急に深くなっています。陸から数キロほどでも深さは100mほどあり、日ざしが届きにくい海底には冷たい水があります。一方で、海上では強い南風が吹きつけています。このため海面近くの水はすぐに押し流され、海底から冷たい水が循環してきます。

そして、海面の水温が低い状態が続き、南風が冷やされたあと陸地に吹きつけるため、涼しくなっていると考えられます。

こうした地形は首都圏では珍しいです。東京湾だと陸に囲まれているので、海水が滞留して温まってしまいがちですが、太平洋に面している勝浦市は常に水が循環しているので、冷たい水が上がってきやすい環境でもあります。

